



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2022/10/7 No.30

## 9月30日 八地申4号「変革2027」の実現に向けた 組織再編に関する申し入れ交渉開催！！ その①

### 【申し入れ内容】

1. 「変革2027」の実現に向けた組織再編施策の実施にあたっては、安全・安定した輸送体制の構築並びに、技術継承・技能継承の維持・向上を図ること。

・安全について会社の認識は？

・再編後の地域との連携はどうなるのか？

2. 今施策を通じて、重複業務の削減により、社員の働き方改革を実現し、業務負担を軽減し、超勤の削減などに繋げること。

・業務のスリム化は意思決定の簡素化という認識でよいか？

・業務が効率的になれば超勤削減となるのでは？

3. 業務の融合と連携を実現する上で、労働時間管理を的確に行い個人間のLINE等でのやり取りにおいて自分の時間で業務の対応などを実施しない体制を構築すること。

・休みでも業務上の連絡をする必要があるのか？

・現状私物のLINEなどで業務のやり取りをしている認識はあるのか？

・支社として労働時間管理について社員教育をすべきではないか？

### 【回答】

社員一人ひとりが、お客さまに近い場所で創意を發揮し、自己の成長と新たな価値創造を続けていくこと、「安全」や「地域の関係」を維持しながら、鉄道オペレーションをサステナブルに運営すること、成長戦略を強力に推進、収益力を強化し、変革のスピードアップを実現することを通じて、働きがいの向上や経営体質の強化を速やかに実現していく考えである。

・安全は当社のトッププライオリティーである。労使の認識は一致している。→確認

・各営統セが地域の顔として連携していく。支社はサポートしていく。

引き続き、効率的な業務執行体制の構築と適切な労働時間管理を行っていく。

・認識は一致している。再編で効率的な業務体制になる。→確認

・超勤は結果として減っていくと考える。

引き続き、効率的な業務執行体制の構築と適切な労働時間管理を行っていく。

・業務上、公特休で超勤を指示することはある。

・会社貸与のタブレットを使用した業務上のやり取りは業務(勤務時間)、私物のスマートフォンも同一である。→確認

・労働時間管理については教育していかなければならないと認識している。→認識一致